

『授業連携報告書』

学校名	四日市市立泊山小学校						
授業のテーマ							
人工衛星のもつ役割							
目標(授業連携をした目的等)							
人工衛星がもつ役割を学ぶことを通じて、プログラミングが社会でどのように生かされているかを学ぶ。							
実施対象	学年	5	2	クラス	合計	65	名
授業科目	総合学習		科目「その他」の場合記入)				
単元			授業日	10	月	12	日
授業連携の前後の授業内容について							
前	JAXAの概要や人工衛星のもつ役割を学ぶ。						
後	プログラミングソフト『スクラッチ』の基本操作を学び、人工衛星を作動させるプログラムを入力する。						
時間配分	学習内容・活動		児童・生徒の様子		学校(先生)の役割・活動		
導入 15 分	JAXAの皆さんについて知る。 (日々のお仕事、研究などについて簡単にお話いただければと思います。)		話を聞く。		児童の様子を見守り、必要な児童には適宜補足説明をする。		
展開 65 分	プログラミング学習 ・趣旨説明 ・操作方法説明 ・プログラミングスタート		話を聞く。 パソコンでスクラッチを使い、プログラミングに取り組む。		児童の様子を見守り、必要な児童には適宜補足説明をする。 パソコンの操作の支援。進捗状況の報告。		
まとめ 10 分	プログラミングやJAXAについて、質問をする。		質問をする。		指名		

授業連携の感想・メモ

- ・子どもたちは、意外な場面(ラグビー選手の背中、カーナビなど)、で人工衛星が使われていることに驚いていた。
- ・ロケットや宇宙に関わる質問ができて、宇宙に対しての興味が持てた。
- ・プログラムを組むのが困難な児童もいたが、「してあげる」のではなく「教える」スタンスで、かかわろうとするまわりの児童が働きかけ、全員無事に人工衛星を作動させるミッションを完遂させた。
- ・プログラミングの敷居が下がり、今後の指導でも経験を生かして取り組ませたい。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
・JAXAのはやぶさ2のカプセルが帰還したことに、とても興味を持っていた。	
・社会科の情報の単元でも、今回の学習と関連付けて学ぶことができた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	